

貯 法：気密容器、室温保存
(「取扱い上の注意」の項参照)
使用期限：容器、外箱に表示

商品番号 25

日本標準商品分類番号

875200

承認番号	(61AM)3700
薬価収載	1987年10月
販売開始	1987年10月

漢方製剤

テイコク桂枝茯苓丸料エキス顆粒

※※〔組成・性状〕

組成	本品 7.5 g 中 日局 ケ イ ヒ 4.0 g 日局 ブ ク リ ョ ウ 4.0 g 日局 ボ タ ン ピ 4.0 g 日局 ト ウ ニ ン 4.0 g 日局 シ ャ ク ヤ ク 4.0 g 上記の混合生薬より製した水製乾燥エキス 2.03 g を含有する。	
	添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、 ステアリン酸マグネシウム
性状	剤形	顆粒剤
	色	淡黄褐色
	におい	特異なにおい
	味	甘苦い
	識別コード	25/OHKI

〔効能・効果〕

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴える次の諸症：月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こり、めまい、頭重、打ち身(打撲症)、しもやけ、しみ

〔用法・用量〕

通常成人1日3回、1回2.5 gを食前に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
著しく体力の衰えている患者〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕
- 重要な基本的注意
 - (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
 - (2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

(1) 重大な副作用

肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明
過 敏 症 ^{注)}	発疹、発赤、そう痒等
消 化 器	食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等

注) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔本剤に含まれるトウニン、ボタンピにより流早産の危険性がある。〕

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない。〕

〔取扱い上の注意〕

- 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保存すること。
- 吸湿性であるので、開封後は湿気に注意して保存すること。

〔包 装〕

2.5 g × 210 包

〔文献請求先〕

大木製薬株式会社 学術課
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3
TEL (03) 3256-5051

発 売 元  大木製薬株式会社
東京都千代田区神田鍛冶町3-3

製造販売元  帝國漢方製薬株式会社
※徳島県阿波市土成町土成字北原80番11